



カリエロ11



サレジオ会宣教ニュース

201 2025年 9月

サレジオ会宣教部門による
サレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信

150 感謝再発進

再 発 進



兄弟会員の皆さん、
カリエロ11の
読者の皆さん、

心からのごあいさつを送ります！
2025年は私たちドン・ボスコのサレジオ会にとり、そして全サレジオ家族にとり、特別な年です。なぜなら私たちは、第一回宣教派遣の150周年を祝うからです。宣教の使命に人生をささげた人々皆に、私たちの感謝を表明する機会なのです。

アルベルト・カヴィリア神父が用いた「ci vado io私が行きます」という言葉に表されるサレジオのモットーは、福音宣教、特に青少年への福音宣教の熱意、そしてどこでも必要のあるところへ遣わされる用意のある心を思い起こさせます。ですから、若い人々に勧めます、恐れることなく、導きと同伴を受けてください。南東アフリカ地域顧問という新たな役割をいただき、私は全サレジオ会との連帯のうちに、宣教の召命を促進するよう呼ばれています：私たちは宣教師を送っていただけてきました、ですから、お返しに宣教師を送り出すことができるでしょう。

● 東南部アフリカ地域顧問
イノセント・ビジマナ神父, SDB

あらゆる形のいのちとの絆

Mission ad gentes すべての人への福音宣教に取り組むサレジオ会員として、私たちはしばしば、発展の遅れた社会の辺縁で活動しています。私たちはそのような現場で、福音宣教と教育だけでなく、人間性の向上のための社会的な奉仕にも取り組みます。サレジオ会の会憲は、**全人的向上への私たちの献身の妥当性を認めています**。「教会の使命は、地上的な領域の進歩発展に緊密に結ばれている福音のメッセージを入びとにもたらし、神の救いの計画、み国の到来を実現させることにある。わたしたちの使命は、教会のこの使命にあずかるものである。」(会憲第31条；参照 使徒的勧告『福音宣教』31)

この全人的向上の働きに取り組むとき、私たちはしばしば、情熱と共感に衝き動かされます。物事が差し迫っているという感覚で行動します。そのような状況のなか、私たちは振り返りや学術的アプローチを行わなくなります。差し迫った状況は、すぐに行動を取るよう促しますが、土地の言葉を学んだり、文化的な機微を理解したりすることの大切さが見過ごされるかもしれません。この世のことで大きな実績を上げながら、人々との関係がおろそかになっていたことに気づきます。一方、**土地の文化の人間論を理解するために時間をかける**ことによって私たちは、対話に取り組むとき、信頼を得ます。人々のための私たちの夢と、人々自身の望みの融合へと導く対話です。パウロ・フレイレが確言するように、この対話的なアプローチは、私たちを真に自由にします。全人的向上のための私たちの働きは、そのようにして、先住民族文化への尊敬によって促進されます。

同様に、体系的なアプローチをもって全人的向上に取り組むなら、いのち・生活の環境論的、心理社会的、霊的な次元に、私たちはより敏感になるでしょう。**あらゆる全人的向上は、絆を養うことと結びついている**と、私たちは思い起こさせられます。脇に追いやられた人々、全被造物、そして創り主ご自身との絆です。そのようにして私たちは、インフラを造る人、組織の創立者になるだけでなく、あらゆる形、段階にあるいのちを尊重しながら、絆を織り成す者にもなるのです。これこそが、宣教の使命の聖なるリズムです。

● ナイロビPDO企画開発事務局 局長
サハヤ・G・セルヴァム神父, SDB



振り返りと 分かち合いのために

- 日々、使命に取り組む中で、どうすれば、単にプロジェクトを作り上げる人ではなく、「絆を築き上げる人」になれるだろうか？
- 緊急なニーズに応え行動するよう衝き動かされるとき、人々との絆を犠牲にしないために、何ができるだろうか？

Cagliero 11 (カリエロ11)の全バックナンバー：<http://salesians.jp/library/cariero>

DBGA：大地と 貧しい人々の叫びに応える



サヴィオ神父様、神父様は「ドン・ボスコ・グリーン・アライアンスDBGA」のコーディネーターです。DBGAとその目標について、詳しく教えてくださいませんか？

ドン・ボスコ・グリーン・アライアンスは、世界中のサレジオの組織で行われている環境保護の取り組みや活動を一堂に集めるプラットフォームです。サレジオの青少年司牧のあらゆる現場の若者たちの間で、エコロジー霊性を促進し、環境教育を向上させ、環境のために行動するよう勧めます。そのようにしてDBGAは、「大地の叫びと貧しい人の叫び」（ラウダート・シ49）に応えたいと努力しています。

インテグラル
総合的なエコロジーとサレジオ会の宣教的な特質との間に、どのような関連があると思いますか？

教育と福音宣教は、私たちサレジオ会の使命の二つの柱です。第29回総会が強調したように、「インテグラル総合的なエコロジーは、教育し、司牧するための恵まれた領域として立ち現れている」。神が造られた世界を世話する人となるよう若者を助けることは、愛、奉仕、正義、平和という特質をもつ神の国の建設に貢献する重要な手段です。現代の若者は環境問題に深い関心を持ち、環境を守り回復させる努力に参加したいという意欲を抱いています。このことは、具体的な環境保護の行動を通して福音的価値を生きる道を、若者と共に歩む有意義な機会を私たちに提供します。森林破壊、環境汚染、気候変動が引き起こす移住などの環境問題は、貧しい人々、弱い立場の人々に特に偏って影響を与えます。こういった差し迫った問題を取り上げることによって、神の国を建設するサレジオの宣教の使命への献身を、私たちは再確認します。

あらゆる段階や形におけるいのちを守り支えるために、私たちは具体的に何ができるでしょうか？

最初の一步は、環境教育を促進することでしょう。若者たちが、世界の直面する環境問題への、明瞭な、総合的な理解を得るためです。第二に、国連環境計画（UNEP）やラウダート・シ運動が率先しているものなど、国際的なキャンペーンに若者たちを関与させるべきです。最後に、地元地域の環境問題に取り組むよう若者たちを支える必要があります。大気汚染、水質汚染、ごみの不法投棄、生態系の多様性の喪失など、若者たちが暮らす地域共同体に直接影響を与えるさまざまな問題があります。そして、そうです、何よりも、一人ひとり自分自身の生活のあり方を振り返り、何を変えるか、決断しなければなりません！



サヴィオ・シルヴェイラ神父、
SDB

ゴア出身のサヴィオ神父はサレジオ会、インド、ムンバイ管区の会員。イタリアのパヴィア大学で「国際協力と開発」の修士号を取得。サレジオ会員として、おもに管区内のミッションの分野で働いてきた。この何年かは、企画開発事務局長、副管区長、管区長を務めてきた。最近、**総合的なエコロジーの分野を担当する**青少年司牧中核チームのメンバーに任命された。



フ
ォ
ー
ラ
ム

青少年司牧部門

青少年司牧部門は、総合的なエコロジーへのサレジオ修道会の立場を打ち出す文書を著し、共に歩む「エコロジカルな回心」を実施するための具体的な道具を、サレジオ会全管区に提供しています。

<https://shorturl.at/8dbzF>

Don Bosco nel Mondo ドン・ボスコ・ネル・モンド基金

活動が環境に与える影響に注意を向け、若者の間で循環型経済の理念を広めることによって、総合的なエコロジーを實踐し共に暮らす家を大切にするという普遍教会の召命に一致します。

<https://donbosconelmondo.org>



9月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

再発進 > 絆

サレジオ会の意向

サレジオの宣教師があらゆる形、段階のいのちを常に尊重するよう、祈ります。

教皇レオの祈りの意向 > 全被造物との私たちの関わり

インテグラル
総合的な
エコロジーの促進者